

# 一般質問の概要



台東区議会自由民主党

たか もり きみこ  
**高森喜美子**



## リチウムイオン電池の安全な取り扱いと廃棄方法の周知について

**Q** ①リチウムイオン電池は小型で繰り返し使用でき、環境への負荷が少ないことなどから、私たちの生活に多く取り入れられているが、取り扱いを誤ると発火の危険性がある。火災の発生を防ぐため、注意喚起や安全基準を満たした製品を周知すべきではないか。②リチウムイオン電池の発火による清掃車等での火災が急増している。リチウムイオン電池内蔵製品の廃棄方法について、区民の理解と協力が得られるよう周知すべきではないか。

**A** ①消費生活啓発冊子で、国の安全基準を満たすPSEマークや使用時の注意点について周知を図った。今後も機会を捉えて積極的に周知する。②一般社団法人JBRCの協力店や製



台東区議会公明党

なか ざわ ふみ お  
**中澤史夫**



## 災害対策について

**Q** ①地震や風水害等の発災時、どのような状況でも子供たちが適切な行動を取れるよう、子供向け防災ブックを作成し、防災意識の向上を図るべきではないか。②内水氾濫等による浸水被害を防止するため、現在、主に活用している土のうと比べ、軽量で設置も容易な簡易型止水板の購入費助成が必要ではないか。

**A** ①防災ブックも含め、子供だけではなく、外国人など配慮を要する方々にも分かりやすい啓発手法を検討していく。②簡易型止水板は、止水性能や敷地内での設置スペース確保などの課題がある。購入費助成は、浸水被害の状況や他



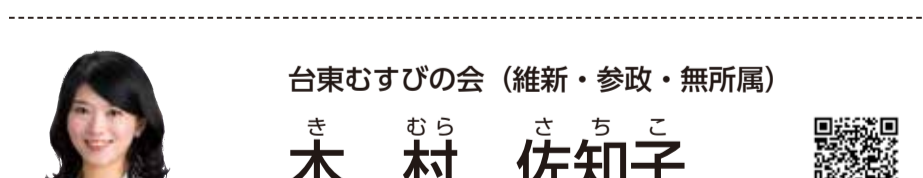
つなぐプロジェクト (無所属・都ファ・国民)

ほん め さよ  
**本目さよ**



## 子どもを守る安全なまちづくり ～公共施設の防犯設計とこどもの権利擁護について～

**Q** 墨田区で相次いで発覚した不適切保育の事例を踏まえ、本区においても、子どもを守る環境をつくるのが急務となっている。犯罪を起こさせない環境をつくるためには、環境設計を通じて犯罪を未然に防止する、犯罪予防環境設計の手法により、「入りやすく見えにくい場所」をなくす



台東むすびの会 (維新・参政・無所属)

き むら さちこ  
**木村佐知子**



## 投機的不動産売買に対する区の姿勢について

**Q** 本区の基準地価の上昇率は23区内で最も高く、投機的な売買により不動産価格が高騰している。これにより、ファミリー層の住み替え等が困難になるといった居住環境のゆがみが生じている。他区では、転売規制の要請をするなど

**一般質問とは**  
区の仕事全般について、区長等に報告や説明を求めることです。

品購入店への持ち込みなど、廃棄方法の案内をしている。引き続き、様々な手法を活用して、わかりやすい周知に努めていく。

## 災害時のトイレの準備について

**Q** ①災害用携帯トイレの準備がない家庭が多い。トイレの不足は衛生環境や健康に影響するものであり、全戸配布し、準備の重要性を認識する契機としてはどうか。②事業所等の備蓄も必要であり、都と連携し、トイレ危機回避の対策を講じてはどうか。

**A** ①災害時トイレ確保・管理指針の策定を進めている。指針に基づき全戸配布も含め、啓発方法を検討していく。②国、都へ要望するとともに、事業者へのトイレを含めた備蓄を働きかけるなど災害対策の促進に努める。

## その他の質問事項

・危機管理としての公益通報について

自治体の取り組みに係る情報収集を行い、内容を検討していく。

## 住み替えに伴う初期費用の助成について

**Q** 新たに住まいを構える際の初期費用は、賃貸契約の場合、借主には大きな負担となる。子供の誕生等を機に住まいが手狭になる子育て世帯や、結婚を機に転居する新婚世帯を支援するため、敷金や引っ越し費用等の住み替えに伴う初期費用を助成すべきではないか。

**A** 住み替えに伴う初期費用の助成は、子育て世帯等の負担軽減に資する手法の一つとして認識している。助成の実施にあたっては、対象となる世帯の設定や支援内容等を整理し、引き続き検討を進めていく。

## その他の質問事項

・リチウムイオン電池等の回収について

ことが有効である。今後、子どもが使用する施設の整備に当たっては、同手法を用いて、防犯対策を更に推進していくべきではないか。

**A** 施設整備に当たり、犯罪の被害回避や犯罪誘発要因の除去は、防犯対策として重要であると認識している。今後も、各施設の特性を踏まえた上で、犯罪予防環境の考え方を取り入れた設計を行い、より効果的な防犯環境を備えた施設の整備に取り組んでいく。

## その他の質問事項

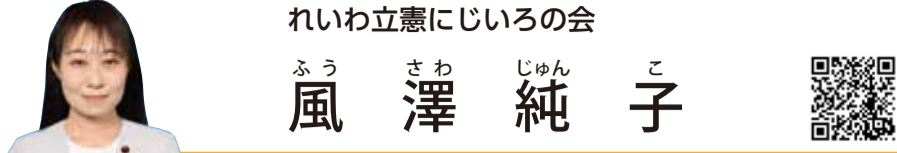
・誰もが安心して学び合える学校づくり  
～多文化共生・インクルーシブ教育の推進～

の動きがある中、本区の現状認識と今後の区の姿勢について、所見を伺う。

**A** 本区では、購入後1年以内の短期売買割合は低く、投機的な不動産売買は見受けられない。国や業界団体の動向を把握しながら、投機的な取引が地域の住環境に影響を及ぼす事象が確認された場合には、対応の要否を適切に判断していく。

## その他の質問事項

・外国人の国民健康保険料の未納対策について



れいわ立憲にじいの会

ふう さわ じゅん こ  
**風澤純子**



## 若い世代からのプレスト・アウェアネスの普及について

**Q** 乳がんは自己検診等による早期発見が可能な疾患である。20歳を超えた女性を対象に、乳房を意識する生活習慣であるプレスト・アウェアネスの啓発を強化すべきではないか。

**A** 健康管理アプリ等によるプッシュ型の情報発信の充実等、



日本共産党台東区議員

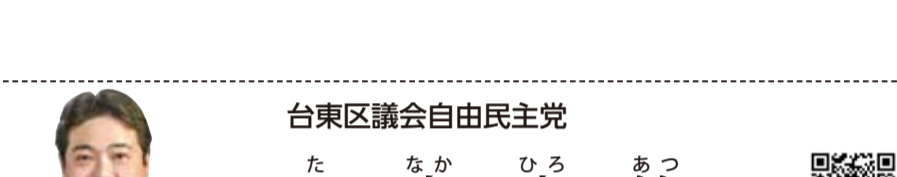
あき ま ひろし  
**秋間洋**



## 物価と地価の高騰から区民を守ることにについて

**Q** 国や都の動きを待つのではなく、区独自に、これまで実施してきた物価高騰対策を継続すべきではないか。

**A** 現在実施している保育所等への支援については、継続できるよう情報収集に努めている。



台東区議会自由民主党

た なか ひろ あつ  
**田中宏篤**



## 外国人との秩序ある共生社会の実現に向けた取り組みについて

**Q** 近隣の土地や建物が外国人や外国資本の企業に買われ、外国人居住者の増加や、今後の生活環境の変化に不安を感じる声が多い。これらの不安を払拭し、外国人との秩序ある共生社会の実現に向け、地域において事業を行う外国人や外国資本の企業に対し、建物の新築やリフォーム、用途変更等の建築に関わる行為の際に、地域との対話を促すような取り組みが必要ではないか。

**A** 地域に不安が生じる背景には、言語や文化の違いから建築の内容に関する情報が事前に行き渡らない場合があると考えられる。そのため、建物の新築や改修、用途変更等の際に、外国人や外国資本の企業等の建築主と地域との対話を促すコミュニケーションツールの在り方や、必要な情報を分かりやすく伝達するための方法等について具体的な検討を進めていく。



つなぐプロジェクト (無所属・都ファ・国民)

なか むら けんじろう  
**中村謙治郎**



## デジタル社会における高齢者支援の更なる充実について

**Q** 社会全体で急速にデジタル化が進む中、高齢者がスマートフォンを安心して活用し、社会とのつながりを保ちながら学び続けられる環境の整備は極めて重要な課題である。デジタ



台東むすびの会 (維新・参政・無所属)

たか はし えりか  
**高橋えりか**



## 「めぐりん」の持続的・安定的な運行について

**Q** 運転手不足によるめぐりんの減便が続き、区民の生活移動の安定性が揺らいでいる。①運転手不足や減便の現状をどのように認識しているか。②小型EVバスやAIオンデマンド交通の導入など、将来的な見直しについて所見を伺う。③運転手の処遇改善にどのように協力していくのか。

更なる啓発に取り組んでいく。

## 台東区のまちづくりについて～今ここに暮らす人を大切にす都市へ～

**Q** ①持続可能なまちづくりを見据えた計画的な区有地確保についてどのように考えているのか。②誰でも利用できる木陰とベンチがある屋外型小規模休憩スポットを設置し、外出しやすい包摂型の街を目指すべきではないか。

**A** ①今後も行政需要等を見極めながら、区有地の計画的な確保を進めていく。②公有地に限らず、沿道空間の工夫等、公民連携による取り組みを検討することも必要と考えている。

## 浅草地下街の防災対策について

**Q** 浅草地下街は、区が平成17年度に行った調査において、「浅草の玄関口としての安全で快適な空間を創出するための整備方針等」を検討する必要がある」と示されたが、これを踏まえてどのように取り組んできたのか。また、耐震性や浸水対策等について、浅草地下道株式会社と協議を進めるとともに、鉄道事業者や国と連携し、様々な対策を講じるべきではないか。

**A** 調査以降、環境整備への助成や占有者への助言等を行ってきた。施設の安全性確保や、避難等に関する対策については、国と連携し、引き続き占有者へ助言等を行っていく。

## その他の質問事項

・(仮称) こどもの権利条例について

## 町会への関心を高める町会案内誌の作成について

**Q** 町会は区政において重要なパートナーであり、区は、町会活性化のため様々な施策を実施してきた。しかし、町会役員の高齢化や人手不足等により広報活動に時間をかける余裕のない町会も多く、区が主体的に支援する必要がある。町会への関心を高め、活動に携わる人を増やすため、町会の成り立ちや特徴、災害時の避難所、通学区域などを網羅した町会案内誌を作成すべきではないか。

**A** 区は、地区町会連合会ごとの特色や活動を紹介した町会案内チラシの作成、防災地図の全戸配布、通学区域表の区ホームページへの掲載等、それぞれの目的に特化した情報を提供している。町会案内誌の作成は情報が多岐にわたるため、正確性の維持や更新の必要性、町会からの情報収集・提供への協力体制の確保等、案内誌の有用性も含め慎重に考えていく。

## その他の質問事項

・地域の防災力強化のための取り組みについて

ル社会における高齢者支援を推進するため、介護予防事業の更なる充実について、今後どのように取り組んでいくのか。

**A** 日常的な使用に資するテーマ別の講座をかがやき長寿ひろば事業で実施するなど、高齢者が気軽に学べる環境を整え、高齢者のデジタル利用の格差解消に努めることで、日常生活における外出機会の創出など、介護予防の推進を図っていく。

## その他の質問事項

・地域防災力の更なる向上について

**A** ①運転手不足は深刻な状況であり、労働時間の改善等を図り、離職を防止していく必要がある。やむを得ない対策として減便を実施した。②小型EVバスは航続距離に、AIオンデマンド交通は輸送効率等に課題がある。今後とも、めぐりんの安定運行に尽力するとともに、技術の進展を注視していく。③運行負担金を増額するなど処遇改善に努めてきた。引き続き、運行事業者の要望を聞きながら、運転手の安定確保に繋がるよう、処遇改善に協力していく。

## その他の質問事項

・新たな観光戦略としてのアニメツアーリズムについて  
・台東区公式キャラクターによるシティブロモーションについて